

<参考資料>

1 井上春成賞

「井上春成賞」は、国立研究開発法人科学技術振興機構の前身の一つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官の井上春成氏がわが国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、新技術開発事業団の創立 15 周年を記念して創設された賞である。

本賞は大学、研究機関等の独創的な研究成果をもとにして企業が開発、企業化した技術であって、わが国科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献したものの中から特に優れたものについて研究者および企業を表彰している。

<参考：井上春成賞 <https://inouesho.jp/gaiyou/index.html>>

2 第 44 回（2019 年度）井上春成賞 受賞式

日 時：令和元年 7 月 18 日（木） 11：00 ～12：30

場 所：日本工業倶楽部 2 階 大会堂
（東京都千代田区丸の内 1-4-6）



3 受賞内容

技術の名称：繊維開織技術による航空エンジン用複合材料

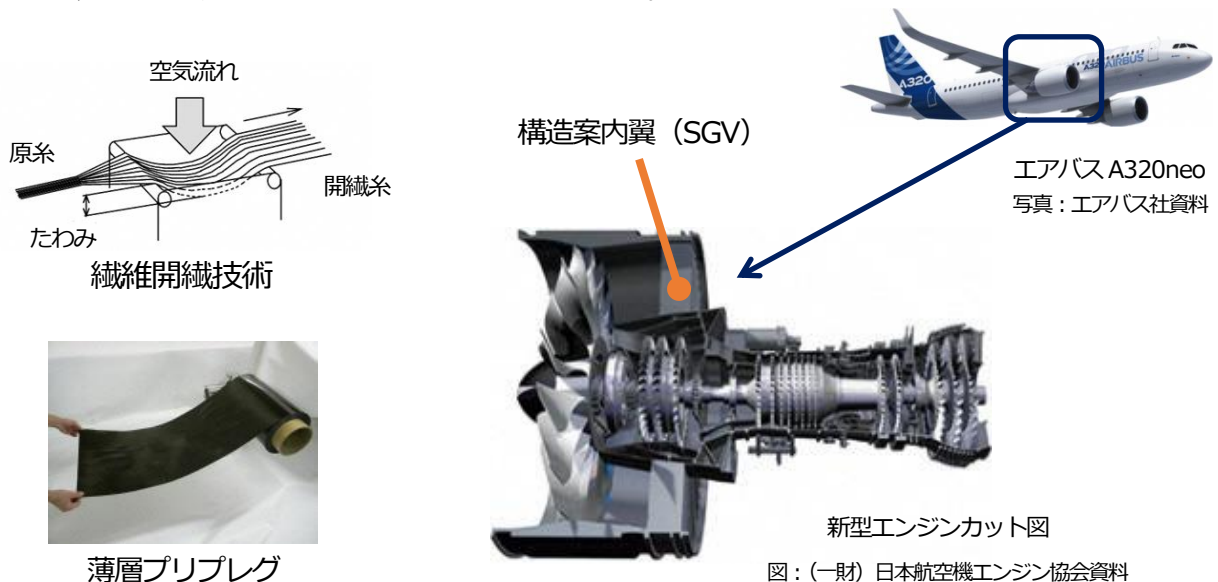
研究者：福井県工業技術センター 新産業創出研究部長 川邊和正（かわべ かずまさ）

企 業：株式会社 I H I 代表取締役社長 満岡次郎（みつおか つぎお）

川邊和正が中心となって開発した繊維開織（1 万本以上の繊維の束をほぐして開く）技術と、この開織により実現した薄層プリプレグ（開いた繊維を並べたシートに樹脂を含浸したもの）製造技術が受賞対象となった。

この技術は 2014 年 12 月に FAA（米国連邦航空宇宙局）より型式承認を受けたエアバス A320neo 航空機用エンジンである PW1100G-JM に適用した構造案内翼（SGV）用素材に採用された。この SGV 用素材に候補技術を適用することにより、航空エンジンとして重要な耐鳥衝突性に優れた軽量な熱可塑性樹脂複合材を実現することが可能となり、エンジンの軽量化・燃費改善・CO₂削減に大きく貢献することとなった。

PW1100G-JM エンジンの受注は大変好調であり、日本の航空産業、素材産業の世界市場での地位向上に、本技術は多大な貢献をしている。



図：（一財）日本航空機エンジン協会資料